

はじめに

この災害ハザードマップは、大雨により市内を流れる河川がはん濫した場合や、山沿いでがけ崩れなどの土砂災害が発生した場合に、みなさんの「安全確保のための避難」や「危険回避」など自主的な行動を支援することを目的に作成されたものです。

まず、みなさんの地域の「危険度」を認識し、災害発生時には迅速な避難行動や災害応急対応を行えるよう、日ごろから備えましょう。

洪水浸水想定区域

- 平成27年5月水防法の改正に伴い、対象となる河川(阿尾川、仏生寺川等)の最大規模の降雨(1,000年に一度程度の確率)を想定した新たな洪水浸水想定区域を示しています。
- 以前にみなさんに配布した「氷見市洪水避難地図(平成19年度作成)」に比べて、浸水範囲が広く・浸水深が深くなっている箇所が多いので、再度確認してください。
- その他の小河川や水路などがあふれる内水はん濫などは考慮されていませんので、想定と異なる浸水深となる場合や、想定が示されていない区域においても浸水する場合があります。

洪水浸水想定的前提条件(想定雨量)	河川名	想定雨量	河川名	想定雨量
	宇波川	24時間 813mm	上庄川	24時間 781mm
	阿尾川	24時間 813mm	仏生寺川	6時間 351mm
	余川川	24時間 813mm	泉川	24時間 813mm

土砂災害警戒区域

- 土砂災害警戒区域は、平成13年4月に制定された「土砂災害防止法」に基づき、土砂災害の危険性のある区域について県が指定するものです。土砂災害から国民の生命を守るため、土砂災害のおそれのある区域についての危険の周知、警戒避難体制の整備、新規構造物立地の抑制など、ソフト面での対策を推進しようとするものです。
- 人家に影響を及ぼす区域を対象としており、指定されていない区域でも土砂災害が発生する可能性があります。

※津波及び危険ため池については、同じく市が発行している「津波ハザードマップ」及び「ため池ハザードマップ」をご覧ください。

目次

表紙

避難の心得

はじめに

マップ作成の目的/目次 … P1
索引図 …………… P2

地図

洪水・土砂災害ハザードマップ …………… P7~60

災害学習・避難活用情報1

洪水発生仕組み/浸水想定区域の考え方 …… P3
土砂災害警戒区域の解説/
土砂災害の種類と前兆現象 …………… P4
災害情報の入手方法・取るべき行動・警戒レベル …………… P5~P6

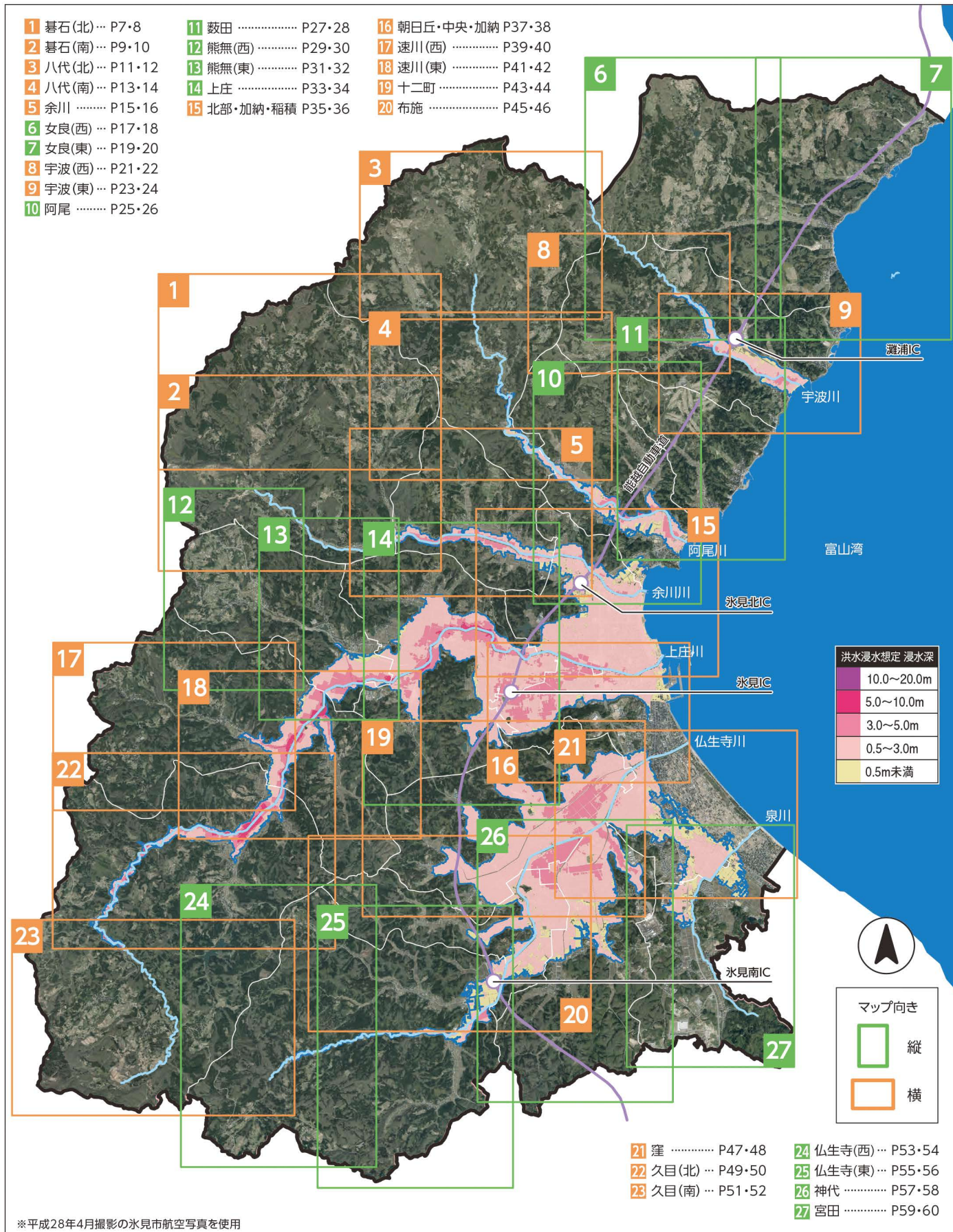
災害学習・避難活用情報2

指定緊急避難場所一覧 …………… P61~62

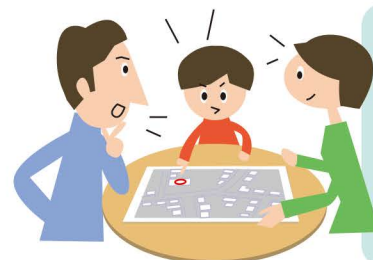
裏表紙

非常時持出品チェックリスト/緊急時連絡先/
防災関係機関/災害用伝言サービス

この冊子の地図に使用している地形図は、氷見市発行の5千分の1地形図(H28.12作成)を複製したものです。



※平成28年4月撮影の氷見市航空写真を使用



家族で話し合っておく

洪水・土砂災害発生時にどこに避難し、どのように連絡を取り合うのか、家族で事前に話し合きましょう。

防災訓練に参加しよう

氷見市や地域が行う防災訓練に積極的に参加し、ハザードマップを活用して避難路などの危険箇所や迂回路を確認しておきましょう。